

令和4年10月26日（水）三次市立君田小学校及び三次市立君田中学校

### 【夢あふれる学校図書館見学会の様子】



### 【事後アンケートより】

#### 本見学会において会場校より学んだこと

- ・ 小中一貫による読書活動を核とした、15歳の生徒に身に付けてもらいたい力の育成や「自己表現」に繋がる優れた実践について学ぶことができました。読書通帳や読書ノートなどの取組を聞くことはありますが、なかなか継続的な取組にならないという課題を多く聞きます。君田小・中学校では、それを様々な取組や学習活動と関連付けながら学校全体の継続的な取組にされている点において大変参考になりました。50年という伝統を受け継ぐことは容易でないと思います。生徒によるブックトークなどの伝統を受け継ぐところと、学校図書館の機能の見直しといった環境等のアップデートするところで、工夫し続けている成果であると感じました。ありがとうございました。
- ・ 読書教育を中核とした工夫された教育活動に年間を通じて取り組まれていることが素晴らしいと感じました。
- ・ 伝統の素晴らしさを思い知りました。特に「親子読書」は、確実に読書習慣が身に付くと思います。また、「ブックトーク」を中学生が行っている動画を拝見し、感嘆しました。
- ・ 読書推進活動は先生だけでも生徒、児童だけでも成り立たないことを学びました。学校が一丸となって、具体的な目標をもって取り組むこととそのための数年にわたるカリキュラムが大事だと学びました。

- ・ 委員会など，生徒が動いて取り組みをされていたのが大変参考になりました。
- ・ 本が身近にある環境づくり，学校ぐるみ，地域ぐるみの取組が大切であることを学びました。
- ・ 生徒のそばにいつも本がある環境づくり。なんとと言ってもリーディングホールがすばらしいと感じました。
- ・ 小学校と連携した取組で9年間を通して読書に親しむ態度を育てていくこと，学習・情報センターと読書センターという機能を上手く分類して，生徒にとって使いやすく整備していくこと，読書ノートや読書スピーチ，読書集会など，組織的な取り組みを継続すること，児童生徒の自主的な活動を取り入れることが参考になりました。
- ・ 本を手にとって見たくなる効果的な配架や，司書がない中での生徒主体の運営について学びました。
- ・ 情報センターと読書センターの役割を分けることが参考になりました。
- ・ 生徒にとって魅力ある図書館の在り方を学びました。
- ・ 居心地の良い読書スペースの作り方が参考になりました。

